

事前評価個表

整理番号	26
------	----

地域（地区）名	おおよどがわ 大淀川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	宮崎市ほか3市4町
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、県の中部から南西部に位置する大淀川流域の4市4町で構成され、比較的平坦な宮崎平野の南部に含まれる宮崎地域、1,000mを超える山々が連なる霧島山地がある西諸県地域、霧島山地と鱈塚山地に囲まれた山間盆地である北諸県地域の3地域から構成されている。</p> <p>民有林面積は70,787ha、そのうち人工林面積が47,444ha（人工林率67%）となっており、スギが人工林面積の81%を占めている。また、年齢構成は11年齢級の7,766haをピークに11年齢級～13年齢級が47%となっており、高齢級林分の割合が高く、本格的な収穫期を迎えている。</p> <p>この充実した森林資源を効率的に活用しつつ、確実な再生林を進めることで、「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業を構築するとともに、「森林の若返り」と年齢構成の平準化を図る必要がある。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づき、必要な間伐や主伐後の更新等の森林整備を計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：11,729ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：4,298,701千円（税抜き 3,907,910千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.55</p> <p>（総便益（B）=29,890,825千円、総費用（C）=6,575,342千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るためには、間伐や再生林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、第八次宮崎県森林・林業長期計画に基づいた効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 木材の安定供給体制の確立とともに、森林の循環利用を図り、多面的機能の維持増進を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：宮崎県

地域(地区)名：おおよどがわ
大淀川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	6,088,077	
	流域貯水便益	2,476,839	
	水質浄化便益	9,092,652	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,380,448	
環境保全便益	炭素固定便益	4,511,459	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,341,350	
総 便 益 (B)		29,890,825	
総 費 用 (C)		6,575,342	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,890,825}{6,575,342} = 4.55$		

